

比内地鶏の情勢

令和3年3月
畜産振興課

1 飼養動向

(1) 飼養戸数

- ・平成20年の149戸をピークに年々減少傾向にあるが、令和2年は前年比1戸増の97戸であった。うち79%は、主産地の県北地域が占めている。

(2) 年間生産羽数

- ・全国の地鶏等の台頭により、平成28年には510千羽まで減少したが、その後3年連続で増加し、平成31年は551千羽まで回復した。
- ・しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生産調整が行われたため、令和2年は481千羽に減少した。うち主産地の県北地域における生産羽数は410千羽で、全体の85%を占めている。

(3) 1戸当たりの年間生産羽数

- ・平成24年以降、増加傾向で推移していたが、令和2年は前年比86%の4,959羽であった。

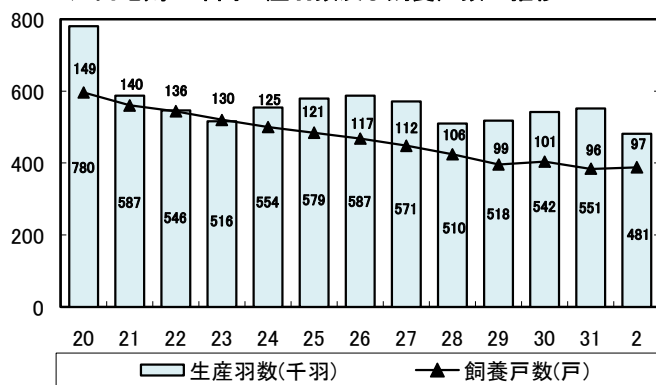
○ 飼養動向の推移

(単位：戸、千羽、%)

年次	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
飼養戸数	149	140	136	130	125	121	117	112	106	99	101	96	97
前年比	110%	94%	97%	96%	96%	97%	97%	96%	95%	93%	102%	95%	101%
年間生産羽数	780	587	546	516	554	579	587	571	510	518	542	551	481
前年比	107%	75%	93%	95%	107%	105%	101%	97%	89%	102%	105%	102%	87%
一戸当たり年間生産羽数	5,235	4,193	4,015	3,969	4,432	4,785	5,017	5,098	4,811	5,232	5,366	5,740	4,959
前年比	97%	80%	96%	99%	112%	108%	105%	102%	94%	109%	103%	107%	86%

(畜産振興課調べ)

比内地鶏の年間生産羽数及び飼養戸数の推移



○ 市町村別順位 (令和2年)

<生産農家数の多い市町村>

- ①大館市 (34戸)
- ②北秋田市 (20戸)
- ③能代市 (11戸)
- ④由利本荘市 (7戸)
- ⑤上小阿仁村 (5戸)

<生産羽数の多い市町村>

- ①大館市 (218千羽)
- ②北秋田市 (107千羽)
- ③由利本荘市 (42千羽)
- ④三種町 (27千羽)
- ⑤大仙市 (26千羽)

2 流通動向

- ・令和2年の流通出荷羽数は495千羽で、出荷先別の割合(羽数)は、県内事業者向けが全体の41%(204千羽)、県外事業者向けが59%(291千羽)であった。

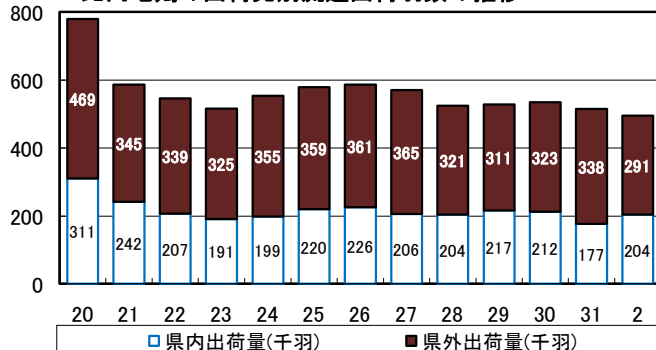
○ 流通動向の推移

(単位：千羽、%)

年次	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
流通出荷羽数	780	587	546	516	554	579	587	571	525	528	535	515	495
前年比	107%	75%	93%	95%	107%	105%	101%	97%	92%	101%	101%	96%	96%
県内向け出荷羽数	311	242	207	191	199	220	226	206	204	217	212	177	204
構成割合	40%	41%	38%	37%	36%	38%	39%	36%	39%	41%	40%	34%	41%
県外向け出荷羽数	469	345	339	325	355	359	361	365	321	311	323	338	291
構成割合	60%	59%	62%	63%	64%	62%	61%	64%	61%	59%	60%	66%	59%
食鳥処理業者期末在庫								113	21	5	12	48	34

(畜産振興課調べ ※食鳥処理業者在庫はH27から調査)

比内地鶏の出荷先別流通出荷羽数の推移



○ 出荷先別割合 (令和2年)

